

# 国 会 芸 術 祭

## 星陵会館

〒100-0014  
東京都千代田区永田町2-16-2

〔主催〕文化芸術振興議員連盟(超党派)／文化芸術推進フォーラム

令和元年  
10/15(火)  
18:00開演(17:40開場)

### 文化芸術振興議員連盟とは

文化芸術の振興と文化芸術立国を目的とする超党派の国会議員による連盟。  
行政府、立法府の文化政策の方向について、抜本的な意識改革を目指して、1977年創設。  
【会員数】130名(衆議院議員100名、参議院議員30名)

#### 【役員】

会長 河村建夫(自由民主党)  
副会長 塩谷 立(自由民主党)／横光克彦(立憲民主党)／斉藤鉄夫(公明党)／  
古川元久(国民民主党)／市田忠義(日本共産党)  
常任幹事 羽田雄一郎(国民民主党)  
事務局長 伊藤信太郎(自由民主党)  
事務局次長 浮島智子(公明党)

### 文化芸術推進フォーラムとは

文化芸術関係団体が集い、政策提言などを通して、文化芸術の創造・発展・継承を目指す。2002年創設。議長は野村萬(能楽師・人間国宝)

#### 〔構成20団体〕

公益社団法人日本芸能実演家団体協議会／一般社団法人日本音楽著作権協会／一般社団法人日本レコード協会／一般社団法人日本音楽出版社協会／一般社団法人日本楽譜出版協会／  
一般社団法人日本音楽作家団体協議会／芸術家会議／公益社団法人日本オーケストラ連盟／  
一般社団法人日本クラシック音楽事業協会／公益財団法人音楽文化創造／一般社団法人全国楽器協会／劇場等演出空間運用基準協議会／芸術文化振興連絡会<PAN>／  
一般社団法人コンサートプロモーターズ協会／協同組合日本映画監督協会／  
一般社団法人日本映画製作者連盟／一般社団法人日本美術家連盟／一般社団法人全国美術商連合会／一般社団法人日本美術著作権協会／一般社団法人日本写真著作権協会



# 一開会



**大島 理森**  
衆議院議長



**山東 昭子**  
参議院議長



**河村 建夫**  
文化芸術  
振興議員連盟会長



**野村 萬**  
文化芸術  
推進フォーラム議長

# 一プログラム

(順不同)

## パフォーマンス「光り絵」

真っ暗なくらやみの中で、特殊な蛍光塗料が塗られたキャンバスに紫外線の出るペンライトを絵筆に描くと、光が当たった部分だけ絵が浮かび上がり、そしてゆるやかに消えていく。1分ほどしか残らない幻想的な美しさと儚さが感動を生む。

## 書道パフォーマンス「文化芸術省」

## ダンス「さくら さくら」

日本人の心を、日本人の体と繊細な感覚を使って表現した全く新しい創作舞踊。  
私のこの体で、花を咲かせて魅せませう。

## 日本舞踊

箏曲「令和薫風」

作詞：織田紘二、作曲：四代萩岡松韻、振付：西川箕乃助

公益社団法人日本舞踊協会東京支部が新元号を記念して製作した新曲。歌詞は、新元号令和の典拠となった、大伴旅人が詠んだといわれる万葉集「梅花の歌」の序文から引用した。伝統音楽に見られる、松、竹、梅、獅子、鶴、亀などを歌い寿ぐ。

演奏は唄、箏、三味線、鳴物で編成されており、「三番叟」「獅子」「音頭」「鶴亀の祝いの舞」と曲調の変化に富んだ御祝儀物である。(今回は短縮版での上演)

[歌詞]

豊芦原の瑞穂の国。常磐の木々に風渡り、枝も榮えて松と竹、国花の誇り豊かなる。初春令月梅咲き乱れ、鶴と亀とが舞遊ぶ。喜びの御代を重ねて幾久し、鶴は千年の齢を重ね、亀は万年を寿ぎの。稲穂実れる御田には、日嗣の皇子の清々し、ここに日輪降り注ぎ、風爽やかに田の面をわたる。令和の御代の安寧平和の長きこと。永遠を祈りて万歳楽を舞おうよ。国の繁栄豊か、こぞりて今ぞ祝しけり。永遠安寧の弥栄。世界平和を祈るらん。

## チャイコフスキー国際コンクール優勝者による協演

♪ラフマニノフ：幻想的小品集 Op.3 より 第2番 前奏曲「鐘」…上原彩子  
♪チャイコフスキー(上原彩子編曲)：

バレエ組曲「くるみ割り人形」より“花のワルツ”…上原彩子  
♪山田耕筈：からたちの花(作詞 北原白秋)…佐藤美枝子&上原彩子  
♪プッチーニ：

歌劇「ジャンニ・スキッキ」より“私のお父さん”…佐藤美枝子&上原彩子

チャイコフスキー国際コンクール、日本人初めてのピアノ、声楽第1位に輝く二人の初共演。浅田真央の五輪での演技曲で注目された、ラフマニノフの「鐘」。チャイコフスキーのバレエ音楽「くるみ割り人形」より「花のワルツ」は、上原彩子自身による編曲。いずれも組曲から独立して演奏され、ロシアの風土を感じる作品として親しまれています。北原白秋、山田耕筈の名コンビによる「からたちの花」は、今も広く愛唱されている名曲。プッチーニのオペラ「ジャンニ・スキッキ」から、娘の願いを切々と歌う「私のお父さん」は一度聴くと忘れられない珠玉の Aria です。

## 国会議員合唱団

[国会合唱団とは]

国会合唱団は、初めての国会芸術祭の開催に向け、文化芸術振興議員連盟が衆参両院議員を対象に呼びかけ集まった18名の有志による合唱団です。10月15日に向けて星稜会館での練習に励み、本番を迎えます。

[演目解説]

♪ベートーヴェン：交響曲第9番より第4楽章「歓喜の歌」抜粋  
♪小さな四季（春が来た～こいのぼり～たなばたさま～海～虫のこえ～冬の夜～どこかで春が） 編曲／源田俊一郎  
♪朧月夜 編曲／源田俊一郎

来年2020年に生誕250年記念イヤーを迎えるベートーヴェン。その最晩年に作曲された最後の交響曲第9番からシラーの詩による「歓喜に寄す」の合唱部分の抜粋です。

2006年12月に文化庁と日本PTA全国協議会は、長く歌い継いでほしい童謡や唱歌等を一般から広く募り、101曲を「日本の歌百選」に選定しました(伊藤京子選考委員長)。今日歌われる「春が来た」「こいのぼり」「海」「虫のこえ」「どこかで春が」「朧月夜」はその百選に登場する曲でもあります。心に沁みる歌の数々です。



# 出演者

<span>にしのかよこ</span> <b>西野 嘉良子</b>		<span>たかむら やすひろ</span> <b>高村 保裕</b>	
司会		司会	

---

<span>パフォーマンス「光り絵」</span> <span>わしろ じんべい</span> <b>和代 人平</b>	
画家・パフォーマンスアーティスト	

オイルパステル画、パフォーマンスアート等幅広く作家活動を続けるアーティスト。10年間デザイナー/アートディレクターとして広告制作に携わった後、1987年の初個展を期にイラストレーターとして独立。1988年、オイルパステルと出会い、以後オイルパステル画を中心に創作活動を行う。1989年光りを使って絵を描くライブペインティング「光り絵」を考案し、数々のアーティストとコラボレーションを行い、海外でも高い評価を得る。現在日本で唯一のオイルパステル画家。

<span>日本舞踊</span> 箏曲「令和薫風」 <span>あづま とくほ</span> <b>吾妻 徳穂</b>	
日本舞踊家	


吾妻流三世宗家。祖母である吾妻徳穂に師事。昭和53年に二十歳で六代目家元を継承、平成24年に三世宗家・二代目吾妻徳穂を襲名する。自身の会を主宰するほか、文化庁、日本舞踊協会、国立劇場、NHK主催公演、海外公演などに多数出演。紫綬褒章受章。主な受賞に日本芸術院賞、芸術選奨文部科学大臣賞及び新人賞、文化庁芸術祭大賞、花柳壽應賞新人賞など。(公社)日本舞踊協会常任理事。

<span>書道パフォーマンス</span> 「文化芸術省」 <span>かきぬま こうじ</span> <b>柿沼 康二</b>	
書家・現代美術家	

東京学芸大学教育学部芸術科(書道)卒業。5歳より筆を持ち、柿沼翠流(父)、手島右卿、上松一條に師事。伝統的な書の技術と前衛的な精神による独自のスタイルは、「書を現代アートまで昇華させた」と国内外で高い評価を得る。2012年春の東久邇宮文化褒賞、第1回矢板市市民栄誉賞、第4回手島右卿賞、独立書展特選、独立書人団50周年記念大作賞、毎日書道展毎日賞(2回)、文化庁公益信託第6回国井誠海賞、等受賞歴多数。現在、株式会社柿沼事務所代表取締役兼アーティスト/書家。

<span>日本舞踊</span> 箏曲「令和薫風」 <span>はなやぎ もとひ</span> <b>花柳 基</b>	
日本舞踊家	

母である花柳秀に師事、後に人間国宝・花柳壽楽に師事。自身の会を主宰するほか、文化庁、日本舞踊協会、国立劇場、NHK主催公演などに多数出演。ジャポニスム2018 日本舞踊フランス公演に参加。「弧の会」「五耀會」同人。主な受賞に芸術選奨文部科学大臣賞及び同新人賞、新春舞踊大会文部大臣奨励賞、花柳壽應賞新人賞、弧の会として文化庁芸術祭優秀賞など。(公社)日本舞踊協会理事、花柳流花柳会理事。

<span>ダンス「さくら さくら」</span> <span>おおまえ こういち</span> <b>大前 光市</b>	
交通事故で左足を失ったダンサー	

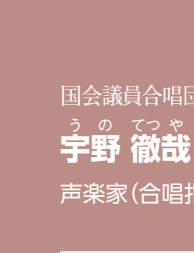
大阪芸術大学舞台芸術学科舞踊コース卒業。左足を失ってから10年後、国内外コンクールにて多数の一位を受賞。リオデジャネイロパラリンピック閉会式や紅白歌合戦、JABBA WOCKEEZ「jreamz」など、国内外の舞台だけでなく、メディア出演も多く、今日本で最も注目度の高いダンサーの一人。岐阜県芸術文化奨励賞受賞(2017年)。現在、関西大学人間健康学部 客員教授、Chacott「トリビュア」イメージキャラクター、しながわ2020スポーツ大使。

<span>チャイコフスキー</span> 国際コンクール 優勝者による協演 <span>うえはら あやこ</span> <b>上原 彩子</b>	
ピアニスト	

第12回チャイコフスキー国際コンクール ピアノ部門において、女性としてまた、日本人として史上初めての第一位を獲得。以後、国内外で演奏活動を行い、ヤノフスキ、ノセダ、ルイーダ、ゲルギエフ、インバル、ラザレフ、小澤征爾、小林研一郎、飯森範親、各氏等の指揮のもと、国内外のオーケストラのソリストとしての共演も多い。第18回新日鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞受賞。東京藝術大学音楽学部 早期教育リサーチセンター准教授。

<span>国会議員合唱団</span>	

<span>衆議院</span>	<span>参議院</span>
<b>青山 大人</b>	<b>伊藤 孝江</b>
<b>あきもと 司</b>	<b>今井 絵理子</b>
<b>浅野 哲</b>	<b>小沼 巧</b>
<b>左藤 章</b>	<b>紙 智子</b>
<b>中野 洋昌</b>	<b>佐々木 さやか</b>
<b>畑野 君枝</b>	<b>山東 昭子</b>
<b>松田 功</b>	<b>塩村 文夏</b>
<b>森山 浩行</b>	<b>竹内 真二</b>
<b>横光 克彦</b>	
<b>鰐淵 洋子</b>	(五十音順)

<span>チャイコフスキー</span> 国際コンクール 優勝者による協演 <span>さとう み え こ</span> <b>佐藤 美枝子</b>	
声楽家	

武蔵野音楽大学卒業。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部修了。第7回五島記念文化賞オペラ新人賞、第9回出光音楽賞受賞。五島記念文化財団奨学生としてイタリアに留学。2000年藤原歌劇団公演「ランメルモールのルチア」のタイトルロールでデビュー。1998年第11回チャイコフスキー国際音楽コンクール声楽部門で日本人初の第1位受賞。日本を代表するソプラノとして幅広く活躍している。藤原歌劇団団員。

<span>国会議員合唱団</span> <span>おおとも なおと</span> <b>大友 直人</b>	
指揮者	

桐朋学園大学卒業。指揮を小澤征爾、秋山和慶、尾高忠明、岡部守弘各氏に師事。大学在学中からNHK交響楽団指揮研究員となり、22歳で楽団推薦によりNHK交響楽団を指揮してデビュー。国内に限らず海外のオーケストラにも多く客演し、欧米での活躍にも大きな期待が寄せられている。2004年から8年間にわたり、東京文化会館の初代音楽監督を務める。第8回渡邊暁雄音楽基金音楽賞(2000年)、第7回齋藤秀雄メモリアル基金賞(2008年)受賞。現在、東京交響楽団名誉客演指揮者、京都市交響楽団桂冠指揮者、琉球交響楽団音楽監督。

<span>国会議員合唱団</span> <span>うの てつや</span> <b>宇野 徹哉</b>	
声楽家(合唱指導)	

京都市立芸術大学・ベルリン芸術大学卒業。京都音楽協会賞・第1回日本シュベルト協会国際歌曲コンクール第1位など受賞。二期会や新国立劇場主催のオペラ公演に多数出演。コンサートでも教会音楽や「第九」、歌曲の演奏会に多数出演。また近年はポップスのコンサートにも参加し、新しい音楽の分野を開拓している。合唱指導の分野でも意欲的に活動し、現役声楽家ならではの発声指導やその実践指導を行い高い評価を受け、関係団体は10団体を数える。現在、洗足学園音楽大学講師、二期会会員。

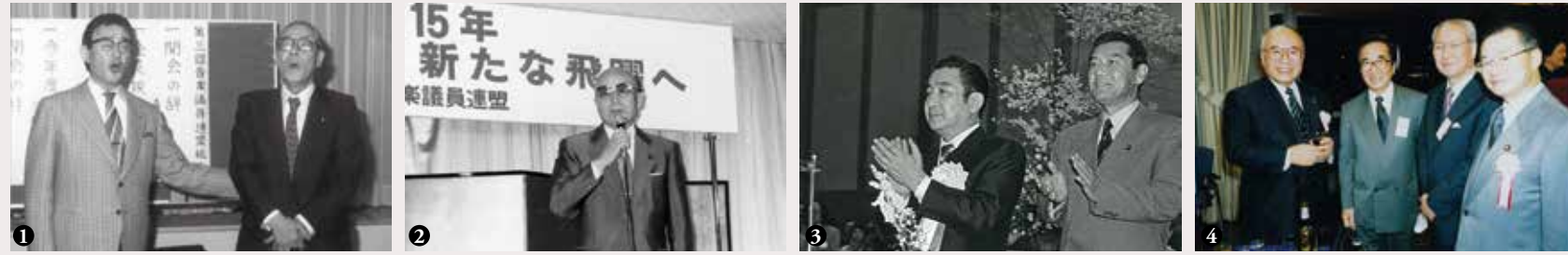
<span>国会議員合唱団</span> <span>おの でら み き</span> <b>小笠寺 美樹</b>	
ピアニスト	

東京都立芸術高等学校音楽科、国立音楽大学器楽学科卒業。二期会、藤原歌劇団、文化庁オペラ研修所、国立音楽大学大学院オペラ科伴奏助手など、コレペティトウアとして研鑽を積み99年、イタリア留学(文化庁在外派遣研修員)。第6回奏楽堂日本歌曲コンクール優秀共演者賞、第2回Foggia国際ピアノコンクール第3位他、数々のコンクールに入選。ソロ、室内楽の他、数々のオペラセッコチェンバロでも活躍中。現在、新国立劇場オペラ制作音楽スタッフとして公演に携わる他、新国立劇場研修所講師として後進の指導にあたる。





# 文化芸術振興議員連盟×文化芸術推進フォーラム あゆみ



- 1 歌手の霧島昇氏と共に歌う初代会長・前尾繁三郎氏(1981年第3回総会)
- 2 2代会長・櫻内義雄氏(1992年総会)
- 3 3代会長・橋本龍太郎氏(2001年「芸術文化のタベ」)
- 4 2002年 文化芸術振興基本法成立を祝うタベ
- 5 2002年 文化芸術振興基本法推進フォーラム発足
- 6 野村萬・文化芸術推進フォーラム議長(2011年「文化芸術振興基本法制定10周年記念シンポジウム」)
- 7 4代会長・柳澤伯夫氏(2007年「音楽議員連盟30周年を祝う会」)
- 8 5代会長・中野寛成氏(2012年議連総会／文化芸術推進フォーラムから国会講義を提出)
- 9 6代会長・河村建夫氏(2018年「文化芸術省」創設を政府に提言)

## 入場税撤廃に向けて

- 1974** 舞台入場税対策連絡会議が入場税撤廃を求め156万筆の請願署名提出。
- 1977** 文化政策等について、立法院、行政府の抜本的な意識改革を目指し、超党派の衆参国會議員36名を会員に音楽議員連盟(音議連)結成。初代会長に前尾繁三郎、事務局長に青木正久就任。
- 1982** 音議連二代目会長に櫻内義雄就任。
- 1984** 舞台入場税対策連絡会議が入場税撤廃を求め156万筆の請願署名提出。
- 1985** 「入場税免税点を5000円に引上げ」実現。
- 1986** 音議連第8回総会開催。音楽・俳優・舞踊・演芸などの団体の他著作権・著作隣接権団体の賛同を得て、55団体で「音楽議員連盟振興会議」発足。
- 1987** 音議連創設10周年。会員数61名。

## 文化政策の充実に向けて

- 1983** 「商業用レコードの公衆への貸与に関する著作権者等の権利に関する暫定措置法(貸レコード暫定措置法)」が議員立法で成立。
- 1985** 著作権法の一部が改正され、貸与権創設(貸レコード暫定措置法廃止)。
- 1988** 「芸術振興基金(仮称)設立に向けてのプロジェクト報告書を受け検討開始。
- 1990** 国立劇場法を改正し日本芸術文化振興会法が成立。芸術活動への助成を行う「芸術文化振興基金」設立。
- 1991** 音議連に「芸術家の地位に関するユネスコ小委員会」を設置し、検討開始。
- 1992** 著作権法の一部が改正され、私的録音録画補償金制度創設。
- 1993** 音議連に「子どもの芸術文化振興に関する小委員会」設置。
- 1994** 音議連第15回総会。「音楽教育振興」のシンポジウム開催。
- 1995** 音楽CD再販問題を音議連総会で特別決議。
- 1997** 音議連事務局局長に斉藤斗志二就任。
- 1998** 著作権法の一部が改正され、著作権法附則第14条廃止。  
CD等再販維持決定。  
音議連役員会で「著作権に係る小委員会」発足。  
著作権法附則14条撤廃等の方針確認。
- 1999** 音議連第25回総会。「芸術文化基本法」(仮称)創設特別委員会を設置。  
音議連三代目会長に橋本龍太郎就任。



## 文化行政に基礎的基盤を

- 2000** 文化庁と協力し、基本法の理念の浸透と文化政策拡充の活動を全国展開。
- 2001** 文化芸術振興基本法推進フォーラムが文化芸術推進フォーラムに改称。  
法人に関わる芸能報酬等の源泉徴収制度廃止。
- 2002** 文化芸術11団体が「文化芸術振興基本法推進フォーラム」発足。  
「文化芸術振興基本法成立を祝うタベ」開催。  
著作権法の一部が改正され、表演家人格権付与、表演及びレコードに関する世界的所有権機関条約加入。
- 2003** 芸術文化基本法創設を目指す「芸術文化のタベ」開催。  
「文化芸術振興基本法」が議員立法で成立。
- 2002～2006** 音議連第25回総会。「芸術文化基本法」(仮称)創設特別委員会を設置。  
音議連三代目会長に橋本龍太郎就任。

## 基本法の理念の浸透と文化政策拡充の活動を全国展開

- 2006** 音議連四代会長に柳澤伯夫就任。会員数81名。  
音議連振興会議が解散し、同会議の役割を文化芸術推進フォーラム(構成14団体)が引き継ぐ。
- 2007** 新たな公益法人税制実現等をテーマに連続セミナー開催。  
文化芸術立国の実現に向けて、フォーラム「伝統文化の継承と新たな創造」と音議連30周年を祝う会開催。会員数75名。  
法人税非課税、寄附金優遇制度等の拡充した新公益法人税制が実現。
- 2008** 劇場をめぐる特別シンポジウム開催。
- 2009** 音議連五代目会長に中野寛成、事務局長に梁瀬進就任。会員数70名。  
シンポジウム「文化芸術による人づくり、社会づくり、国づくり」開催。
- 2010** 「文化芸術立国に向けて文化関連予算の大幅な増額等を求める請願」署名約60万筆を文化芸術推進フォーラムより預かり、国会へ提出。  
音議連幹事長に横光克彦就任。  
フォーラム「文化芸術を国の政策の基盤に」開催。

## 文化芸術省創設に向けて

- 2011** 「文化芸術振興議員連盟創設40年、文化芸術推進フォーラム創設15周年記念祝賀会開催。会員数1177名。  
「文化芸術省」の創設を政府に提言。
- 2012** 「文化芸術基本法」が議員立法で成立。  
文化芸術振興基本法見直し着手。  
「五輪の年には文化省」を掲げ、「宣言と公演」文化芸術の力をすべての人々に、「東京・札幌オリンピック映画上映会」、「アーティストによる新作オークション」実施。
- 2013** シンポジウム「文化省の創設を考える」開催。  
音議連六代会長に河村建夫、事務局長に伊藤信太郎就任。規約を改正し、文化省創設と文化予算増額を目標に掲げ、文化芸術振興議員連盟に名称変更。  
視覚的実演に関する北京条約加入。
- 2014** 議連で映像問題研究会発足。  
シンポジウム「映画の振興を国家文化戦略に」。「五輪の年には文化省」及び著作権をテーマにしたフォーラム開催。
- 2015** シンポジウム「表演芸術、劇場、映画の創造基盤をつくる」。「文化省創設への道筋」開催。
- 2016** 「文部科学省設置法の一部を改正する法律案」審議過程において、「文化省創設」に関する附帯決議を衆参両院で史上初の採択。  
文化省創設実現に向けての勉強会開催。
- 2017** 「文化省創設」の創設を政府に提言。
- 2018** 「文化芸術基本法」が議員立法で成立。  
文化芸術振興議員連盟創設40年、文化芸術推進フォーラム創設15周年記念祝賀会開催。会員数1177名。  
「五輪の年には文化省」を掲げ、「宣言と公演」文化芸術の力をすべての人々に、「東京・札幌オリンピック映画上映会」、「アーティストによる新作オークション」実施。